

## 製品名

## パレストーンシーラー

AGCコーテック株式会社

系 統	アクリル樹脂エマルション系下塗材		
特 徴	1. 耐アルカリ性、耐水性、造膜性に優れています。 2. セメント系下地表面の未硬化セメント粉、アルカリ、エフロレッセンス等を固化し、下地を補強します。 3. 仕上塗材との接着性を向上することができます。 4. 合成樹脂エマルションであるため、希釈・塗装ともに作業が容易です。		
用 途	1. 住宅・マンション・事務所・店舗・学校・その他の建築物(新築・改修)の内外壁面		
荷 姿	15 kg		
混 合 比	—	色 相	クリアー
ポ ッ ト ラ イ フ	—		
乾 燥 時 間	指 触(23℃) — 半硬化(23℃) — 硬 化(23℃) 3時間	塗 装 間 隔	次工程までの放置時間(23℃) 下 限 3時間 上 限 3日
標 準 所 要 量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	下 限 0.10 上 限 0.15	標 準 塗 膜 厚 (μ m/回)	20~30
塗 装 方 法	刷毛、ウールローラー、エアスプレー エアレスユニット	主な適用法令 労働安全衛生法 該当なし 消防法 該当なし	
希 釈 剤	清水		
希 釈 率 (重 量 比 %)	下 限 10 上 限 30		
固 形 分 ( % )	20		
比 重	1.02		
有 効 期 間 【品質保証期限】 (未開封)	6 ヶ月 (製造後)		
塗 装 上 の 注 意	1. 気温が5℃以下、湿度85%以上又は降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。 また、作業後に降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生して下さい。 2. 塗装間隔は気温23℃(湿度50%)の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は、 塗装間隔を長めにとって下さい。		
備 考	詳細はSDSをご覧ください。		

制定: 2017年12月1日

改定: 年 月 日

## 取扱い上の注意事項

### 1. 取扱い方法及び保管

- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを付け、更に頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等を着用して下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、ウエスで拭きとって、水をはった容器に保管して下さい。
- ・ 塗料あるいは溶剤等の付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまでは、必ず水に漬けておいて下さい。
- ・ 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ・ 缶上部の取っ手は手下げ専用です。ロープやフック等を取っ手に取り付けてつり下げないで下さい。
- ・ 貯蔵中は容器を密閉し、直射日光や雨のあたらない、換気の良い一定の場所を定めて保管して下さい。
- ・ 部外者の出入りできないところで、かつ子供の手の届かないところに保管して下さい。

### 2. 救急処置

- ・ 皮膚や着衣に付着した場合は、水やせっけんで十分に洗い落とし、皮膚に痛みや外観の変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けて下さい。

### 3. 火災時の処置

万一、火災が発生した場合には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

### 4. 廃棄

- ・ 廃材、材料の付着したウエス等は安全な方法で保管し、廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ・ 容器は中身を使い切ってから、廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

### 5. 誤使用

- ・ 本来の用途以外(シンナー遊び、汚れ落とし等)に使用しないで下さい。
- ・ 指定された以外の材料と混合しないで下さい。

### 6. 詳細情報

- ・ 詳細な情報が必要な時は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。